

令和6年度

日本水産学会九州支部総会・大会・例会プログラム

日 時： 令和6年12月14日(土)・15日(日)

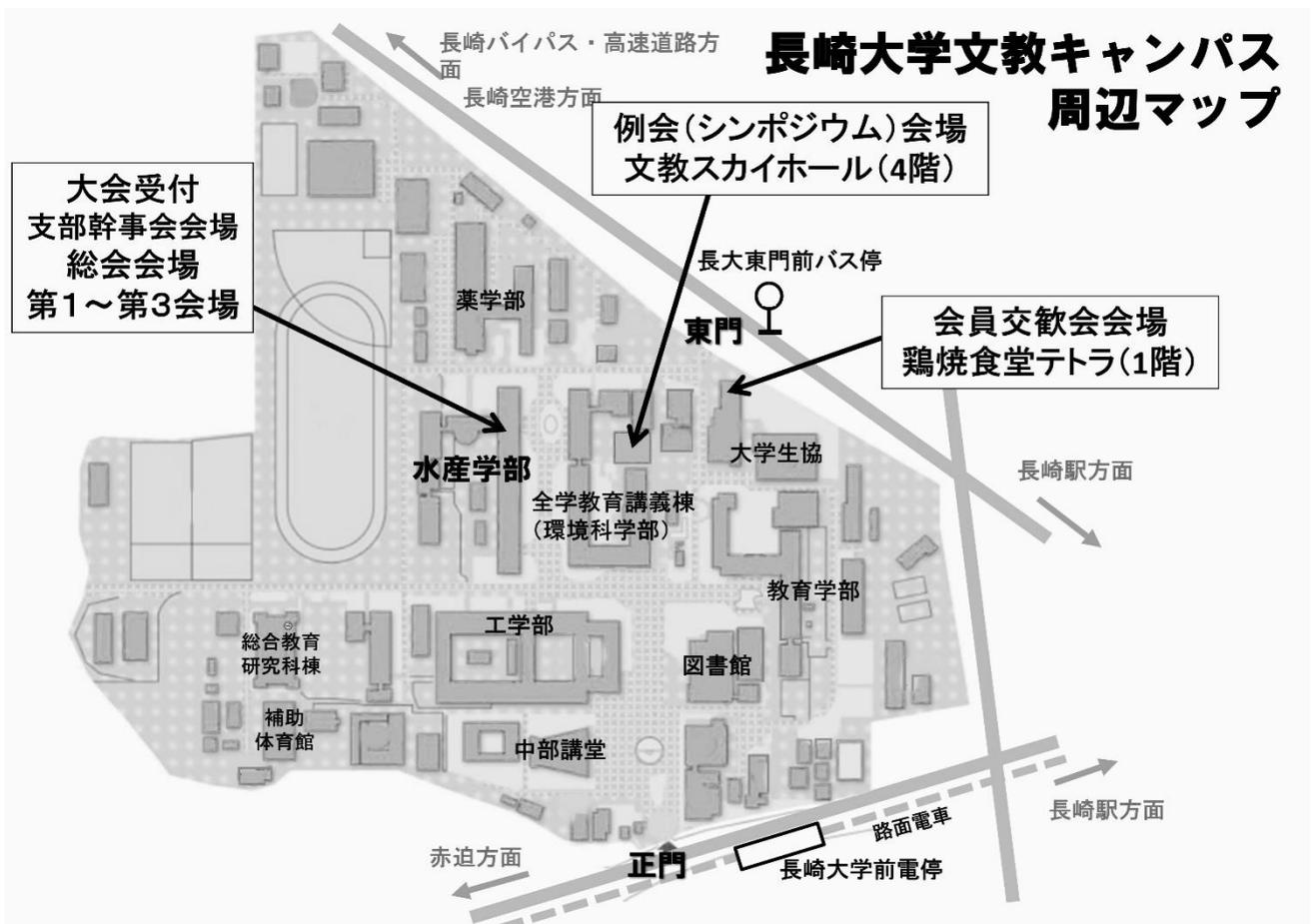
場 所： 長崎大学水産学部, 文教スカイホール

12月14日(土)

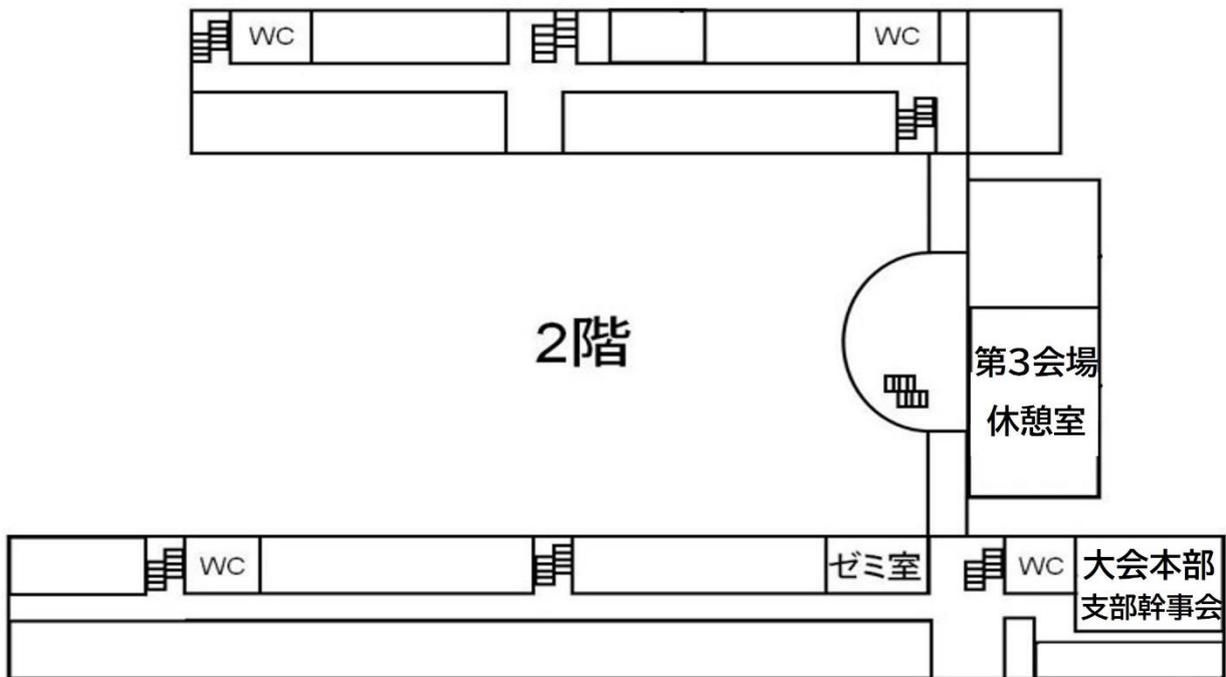
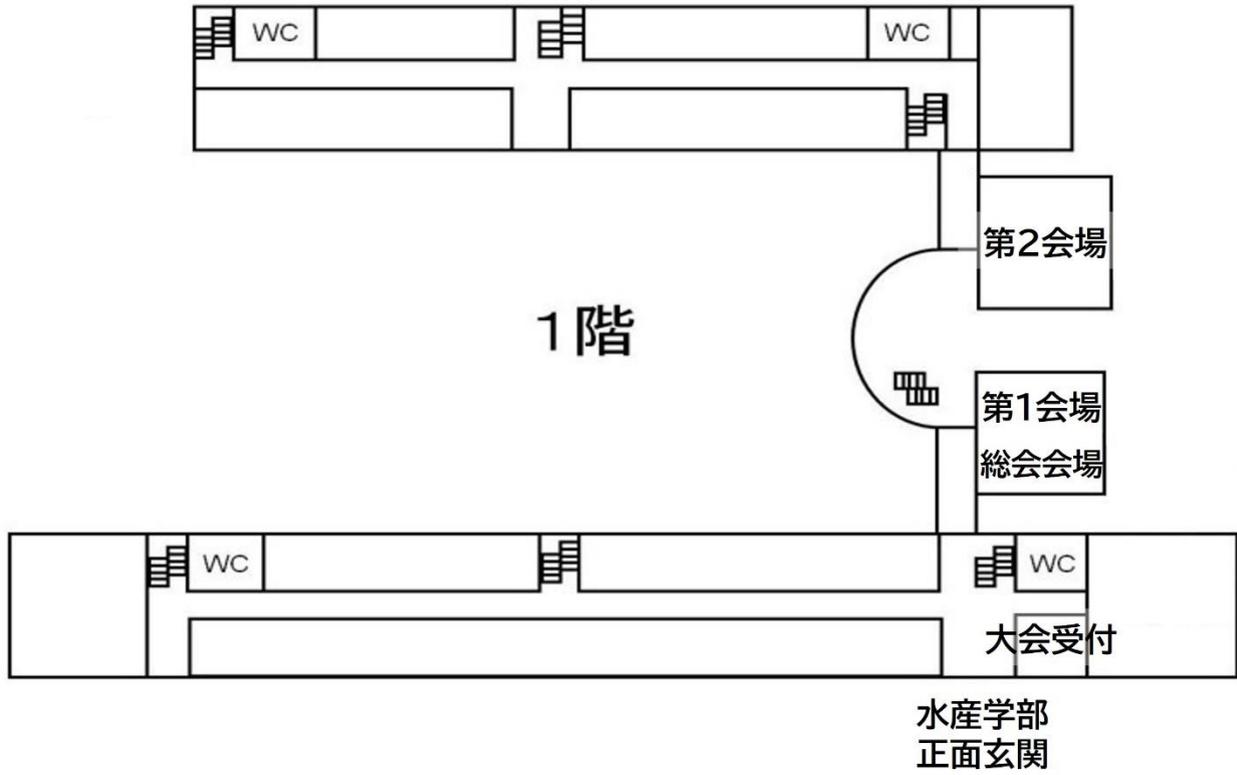
- 14:30 総 会 【第1会場】
- 15:00 大 会 一般研究発表(口頭発表)【第1会場・第2会場】
- 18:30 会員交歓会 【鶏焼食堂テトラ 長崎大学店】

12月15日(日)

- 9:00 大 会 高校生による研究発表(ポスター発表) 【第3会場】
- 10:30 例 会 「海洋分野における働き方の未来」 【文教スカイホール】
- 12:30 大 会 表彰式(一般研究発表, 高校生による研究発表)【文教スカイホール】



会場案内図 (水産学部)



12月14日(土)

一般研究発表 第1会場

- 15:30 **1-01** スジアオノリの成長と光合成速度が最大となる二酸化炭素濃度の推定
○山羽 香穂 (長大院水環)・猪股 英里 (理研食品)・名越 日佳理 (理研食品)・
佐藤 陽一 (理研食品)・Gregory N. Nishihara (長大海セ)
- 15:45 **1-02** ニュートラルレッド(NR)染色法による大村湾の底生線虫の生死判別
○木澤颯一・岸本堅人・川上裕生・和田実(長大院総生)・丸山裕豊・眞角聡・
内田淳・青島隆(長大水)・広瀬美由紀・松下吉樹・鈴木利一(長大院総生)
- 16:00 **1-03** 活性染色を用いた底生カイアシ類の生死判別法
○岸本堅人・木澤颯一・川上裕生・和田実 (長大院総生)・丸山裕豊・眞角聡・内田淳・
青島隆 (長大水)・広瀬美由紀・松下吉樹・鈴木利一 (長大院総生)
- 16:15 **1-04** アサリ足糸付着基質選択性について：供試個体の特性を考慮した再解析
○中地 桃花 (長大水)・竹内 清治 (長大院生産)
- 16:30 **1-05** 海産魚類仔魚は暗闇でも摂餌を行うのか？
大海 聡一・○小谷 知也 (鹿大水)
- 16:45 **休憩**
- 17:00 **1-06** 長崎県北部海域から放流したヒラマサ・ブリ自然交雑個体の回遊行動
○上浦 綾大・大脇 拓洋 (長大院生産)・高橋 洋 (水大校)・中嶋 健心 (長大水)・
小山 喬・阪倉 良孝 (長大院生産)・刀祢 和樹 (道さけます内水試)・河邊 玲 (長大海セ)
- 17:15 **1-07** 対馬海峡のブリ属仔稚魚の出現特性とヒラマサの産卵場推定
○岩永凌征・小山喬 (長大院水環)・樋渡萌・眞角聡・内田淳・青島隆 (長大水)
・河邊玲 (長大海セ)・阪倉良孝 (長大院水環)
- 17:30 **1-08** ミトコンドリア DNA に基づいた日本産タケノコメバルの集団形成史
○佐々木 康太郎・小山 喬 (長大院水環)・山野 ひとみ・柳下 直己 (倉敷芸科大生命)

一般研究発表 第2会場

- 15:00 **2-01** カンパチ稚魚の成長、体組成および免疫におけるユーグレナおよびオーランチオキトリウムの添加効果
○横山 佐一郎・藁科 雅人・石川 学（鹿大水）・鈴木 野乃美・花城 拓史・渡辺 悠介・堀内 真展（ユーグレナ）
- 15:15 **2-02** 給餌タイミングの変化がブリの日周リズムや体格に及ぼす影響
○山本悠理・遠藤友莉・廣瀬巧弥（長大院水環・食品栄養）・征矢野清・室越章・藤川稔晃・平坂勝也（長崎大・海洋未来）
- 15:30 **2-03** 昆虫ミールを魚粉代替原料とした養殖マサバの品質評価
○小針壮太・長野直樹（宮崎大院農）・Sipra Mohapatra・Tapas Chakraborty・太田耕平・松山倫也（九大院農）
- 15:45 **2-04** 養殖マサバ仔稚魚の骨格形成過程と骨格異常
○津守康成・長野直樹（宮崎大農）・Sipra Mohapatra・Tapas Chakraborty・太田耕平・松山倫也（九大院農）
- 16:00 **2-05** ホシササノハベラにおける 17β -hydroxysteroid dehydrogenases の探索
○瀬戸宏明・Tapas Chakraborty（九大院農）・豊田敦（遺伝研）・伊藤武彦（科学大生命理工）・松山倫也（九大院農）・長濱嘉孝（金沢大生命理工，基生研）・太田耕平（九大院農）
- 16:15 **休憩**
- 16:30 **2-06** クロマグロ生殖腺における Kiss と KissR の周年的な発現解析
○飯田 慎也（長大院生産）・吉田 朝美・中野 楓土（長大水）・白濱 陽一・吉武 政広（マルハニチロ株式会社）・長富 潔（長大水）
- 16:45 **2-07** 水および餌を介して取り込んだマイクロプラスチックの魚体内動態予測
○大嶋雄治・高井優生・島崎洋平（九大院農）
- 17:00 **2-08** トラフグ皮由来フグ毒結合タンパク質ホモログの発現解析
○込山 詩織（長大院生産）・Zhang Yafei（長大院水環）・上野 幹憲・山口 健一（長大院生産）

- 17:15 **2-09** トラフグ筋肉中の旨味生成に関与するプロテアーゼの性状解析
○浦富翔伍（長大院生産）・吉田朝美・松下 颯・田中捷也（長大水）・
山崎隆明（東洋製罐 GHD）・橋本加奈子（水産機構技術研）・長富 潔（長大水）
- 17:30 **2-10** 養殖ブリ血合肉の色調評価法と冷解凍時の処理による褐変抑制
○DONG THI HAI YEN（鹿大院農水）・内藤祥太・中園天朗・上西由翁（鹿大水）

一般研究発表要領

1. 受付について

長崎大学水産学部正面玄関に受付を設けますので、必ず発表者本人が受付を行ってください。

2. 発表資料の PC へのコピーについて

発表資料を入れた USB メモリーをご持参ください。PC へのコピー並びに動作確認は、**発表当日の 13:00~14:30** の時間内に行ってください。会場で準備する PC の OS 並びにソフトウェアの仕様は以下の通りです。

OS: Windows 10

ソフトウェア: Microsoft 365 Power Point

- ※ スライドサイズは 4:3 および 16:9 のどちらでも投影可能です。
- ※ 他のプレゼンテーションソフトや動画、OHP は使用できません。
- ※ PC に入れさせていただいたファイルは、発表終了後に速やかに破棄します。
- ※ Macintosh の使用をご希望の方は、事前にご相談ください。

3. 発表について

スライドは大型ワイドモニターに投影します。発表時のスライドの進行は各自において PC を操作してください。指示棒やマウス等はこちらで準備いたします。**発表時間は 15 分（発表 12 分 + 討論 3 分）**です。

- P-13** 海のマイクロ生物への脅威
○原 陽彩・増本 葵・宮原 莉花・山内 心渚（長崎北陽台高等学校）
- P-14** 岩ノリの正体を探る!!～すさびノリと岩ノリの違いとは?～
○山本颯月・江原風花・小畑凜子・川勝ゆうか（長崎北陽台高等学校）
- P-15** 日本古来の不老長寿のノリを探る!!
○柴原 天飛・田中心・樋口 新菜（長崎北陽台高等学校）
- P-16** 味覚細胞を用いた食味評価
○谷崎叶海・大戸紗英・西村実詩・中村優里・武次創司（長崎北陽台高等学校）
- P-17** ホタルの光で味覚を数値化する
○薄本 優・井上 彩華・七五三 和太郎（長崎北陽台高等学校）
- P-18** 大村湾に生息するフグの毒性 I
○井川栞莉・瀬戸悠聖・戸村奏・瀧江菜央（長崎北陽台高等学校）
- P-19** 大村湾に生息するフグの毒性 II
○吉岩莉佳・岡柚樹・百崎千隼（長崎北陽台高等学校）
- P-20** マグロ肉（トロ）の色を指標とした品質評価
○天田泰成・川村龍之介・城台和実・山本咲希（長崎北陽台高等学校）
- P-21** マグロ肉（赤身）の色を指標とした品質評価
○陣川優衣・坂本日向美・相田俊哉・田口杏美（長崎北陽台高等学校）

高校生による研究発表要領

1. 受付について

長崎大学水産学部正面玄関に受付を設けますので、必ず引率者が受付を行ってください。

2. 発表ポスターの掲示について

ポスターの掲示は、発表当日の午前 8：30～9：00 の時間内に行ってください。

3. 発表について

発表者は、発表時間中ポスターの前に立ち、聴衆に説明を行うと共に質疑応答を行ってください。

令和6年度 日本水産学会九州支部例会(シンポジウム) プログラム
長崎大学ダイバーシティ推進センター 令和6年度市民公開講座

「海洋分野における働き方の未来」

日時: 令和6年12月15日(日) 午前10:30~12:30

場所: 長崎大学 文教スカイホール

企画責任者: 吉田 朝美(長大水), 松下 吉樹(長大水), 広瀬 美由紀(長大水・ながさき BLUE エコミー),
矢内 琴江(長大ダイバー推セ), 門脇 知子(長大ダイバー推セ)

10:30-10:35 開会挨拶・趣旨説明 門脇 知子 (長崎大学副学長・ダイバーシティ推進センター長)

I. 水産業における働き方の現状と先進的な取り組み 座長: 吉田 朝美(長崎大学水産学部)

10:35-10:45 将来の水産業と地域活性化を担う人材育成 広瀬 美由紀 (ながさき BLUE エコミー)

10:45-11:00 水産業における働き方の現状 松下 吉樹 (長崎大学水産学部)

11:00-11:40 水産現場での多様な人材と働き方 竹下 千代太 (株式会社天洋丸)

11:40-11:50 休憩

II. 水産業における働き方の未来について考える 座長: 矢内 琴江(長崎大学ダイバーシティ推進センター)

11:50-12:30 パネルディスカッション

パネリスト: 竹下 千代太 (株式会社天洋丸 代表取締役社長)

松下 吉樹 (長崎大学水産学部 教授)

細田 尚美 (長崎大学多文化社会学部 准教授)

荒川 和美 (長崎鶴洋高等学校 教諭)

広瀬 美由紀 (長崎大学水産学部 准教授, ながさき BLUE エコミー 人材育成部門担当)

山本 悠理 (長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 博士前期課程2年)

12:30 閉会挨拶 長富 潔 (日本水産学会九州支部 支部長)

企画の趣旨:

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」=SDGsの17の目標のうち、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」と目標14「海の豊かさを守ろう」は一見別々の目標に見えるが、これらは互いに無関係のものではない。私たち人間は、これまで海の豊かさの恩恵を受けてきたが、今日、海洋汚染や、地球温暖化による豊かな海洋資源の破壊、さらには漁業の担い手不足という深刻な課題も抱えている。日本の漁業は、いわゆる「3K:きつい・汚い・危険」のイメージの男性中心の職場で、古い体質、職場環境がそのまま残っているのが現状である。海の豊かさを守りながら私たちが生きていくために、いま海の仕事は、どのような未来を描いたら良いのだろうか。

本シンポジウムでは、実際に多様な人材を雇用し働き方改革に取り組む水産事業者の講話を踏まえて、水産学や社会科学の専門家、高校教諭に加えて、次世代の水産業を担う若者も交えて「海洋分野における働き方の未来」について議論したい。

共催: 長崎大学ダイバーシティ推進センター, 日本水産学会九州支部

後援: 長崎県, 長崎市, 雲仙市, ながさき BLUE エコミー